



市コロナ対策ふるさと納税で応援！

ガバメントクラウドファンディングで、目標額 200 万円募る

市は 10 月 6 日、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」が地方自治体向けに提供する、クラウドファンディング型でふるさと納税を行う仕組み「ガバメントクラウドファンディング®」(以下 GCF) で、市新型コロナウイルス感染症対策応援基金への寄附を募るプロジェクトを開始する。今年5月の創設以降、ファクス・電子メール、郵送、ふるさと納税ポータルサイト等で受け付けていた応援基金への寄附の申請を GCF でも受け付けることで、申請方法を増やし、より広く寄附を募ることが目的。目標額は 200 万円。

企画・運営は株式会社トラストバンク(本社:東京都目黒区、代表取締役:川村憲一、以下「トラストバンク」)で、自治体が抱える社会・地域課題の解決に必要な資金を集めるためのツールとして、10月1日時点で870以上のプロジェクトが実施された。

市健康福祉総務課の担当者は「参加する自治体が全国でまだ2割と少ない GCF では、返礼品ありきではなく取り組みに重点を置いて市を PR できるのが魅力。応援基金について少しでも多くの人に知ってもらい、趣旨に賛同してもらえれば」と話す。

★ガバメントクラウドファンディング(GCF)とは

2013年9月から「ふるさとチョイス」を企画・運営するトラストバンクが提供を始めた、ふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディング。自治体が抱える問題解決のため、自治体自身がプロジェクトオーナーとなり、ふるさと納税の寄附金の使い道をより具体化した、人々の関心や共感を呼ぶプロジェクトを立ち上げることで広く資金を調達する。お礼の品から選ぶふるさと納税よりも、寄附者自らの意思を寄附という形で直接行政に反映できる GCF では、自治体が地域課題に対する具体的な解決策や必要な寄附金と使い道、寄附金を集める期間などを提示する。

★市は、継続的にコロナ対策を進めるために寄附金を財源とする新型コロナウイルス感染症対策応援基金を今年5月に創設し、これまでファクス・電子メール・郵送、ふるさと納税ポータルサイト等で寄附の申請を受け付けてきた。今後もコロナに負けないまちづくりを進めていくため、GCFでも寄附の申請を開始することで申請方法を増やし、より広くたくさんの寄附を募ることを目的とする。10月5日現在、寄附件数は個人209件・団体17件、寄付総額は18,514,597円で、市内外問わず多くの人たちからの協力を得ており支援の輪がどんどん広がっている。

★募集期間は10月6日～来年1月3日。目標寄附金額は200万円。ふるさと納税制度に基づき、年間の寄附総額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税の控除

の対象となり（上限あり）、ふるさと納税の返礼品の提供がある。ただし、返礼品の提供は市外在住者が対象。

★GCF では10月1日時点で寄附総額81億円を突破し、これまでに330以上の自治体が参加して870以上のプロジェクトが実施された。2019年度「グッドデザイン賞」を受賞。詳細はふるさとチョイスガバメントクラウドファンディングサイト (<https://www.furusato-tax.jp/gcf/>) へ。

<お問い合わせ>

健康福祉部 健康福祉総務課 ☎ : 072-841-1319 FAX : 072-841-2470